

Sea & Ship's Magazine

LAMER

2010 No.201

03-04

MAR.-APR. [隔月刊]



母なる海

め～む日本



特集

海と船の未来

シリーズ外航船
原油タンカー「最上川」



特集 海と船の未来

| | |
|---|----|
| カラー・有人潜水調査船「しんかい6500」／地球深部 探査船「ちきゅう」／海洋地球研究船「みらい」 | 1 |
| 排出ガスゼロを目指す船の開発について聞く 日本郵船経営委員・環境特命プロジェクト室室長 左光真啓さん | 10 |
| 商船三井常務執行役員 横田健二さん | 13 |
| 東京大学大学院工学系研究科特任教授 大内一之さん | 16 |
| 船舶の新しい活用法「火葬船」は実現するか | 18 |
| 未来のエネルギー・タンハイドレート | 20 |
| 実験が始まった浮体式洋上風力発電 | 22 |
| 地球温暖化と海面上昇 宮腰義仁 | 24 |
| 海洋生物資源の未来はどうなる? 勝川俊雄 | 26 |
| 魚食隨想 もったいない精神と敬意を込めて海を眺めれば 斎藤潤 | 28 |
| 未来を拓くこの人! | |
| 有人潜水調査船「しんかい6500」潜航長 吉梅剛さん | 30 |
| 海洋地球研究船「みらい」三等航海士 和久井遙さん | 32 |
| 日本の海を支える船員たちへの「夢の船」 今井常夫 | 34 |

| | |
|------------------------------------|----|
| カラー・2010年注目の客船 「クイーン・エリザベス」「にっぽん丸」 | 6 |
| カラー・「飛鳥II」が改装、プレミアダイニングなどを新設 | 80 |
| 日蘭通商400年記念 歴史的造船施設シンポジウムを開催 若村国夫 | 50 |

連載



| | |
|-------------------------------|--------|
| シリーズ外航船⑯ 川崎汽船「最上川」 | 36, 76 |
| 内航船⑯ 東海運「パシフィック シーガル」 | 38, 78 |
| キャプテン佐久間のおもしろ海話Ⅱ⑫ 佐久間誉 | 40 |
| 「海の不思議」を追って⑫ 「女は駄目」は昔の話 土井全二郎 | 42 |
| 海族の系譜⑥ 熊野水軍 その1 山田吉彦 | 44 |
| “海”の仕事人⑯ 給水船「すいれん」 船長 小林智典さん | 46 |
| 越中島黒川研究室⑯ 「原子力船」 黒川久幸 | 48 |
| わが国海運の戦後60年の歩み⑮ 山岸寛 | 52 |
| 名船発掘 日本⑯ 「土佐丸」 山田廸生 | 56 |
| 外国⑯ 「オセアニック」 西村慶明 | 58 |
| シーマン隨想 「マラッカ海峡で海賊と遭遇」 梶岡修 | 60 |
| 海と船のニュース | 62 |
| ミュージアム | 64 |
| 客船・帆船寄港情報 | 65 |
| シップス | 66 |
| 今月の本棚 | 70 |
| 読者から | 72 |
| 海の産業遺産めぐり⑭ 佐賀関の産業遺産 市原猛志 | 73 |

★表紙のことば
川崎沖に停泊する原油タンカー「最上川」。陸と本船を結ぶ通船の船長に頼んでシャッターチャンスをつくってもらった。通船は揺れたが乗船した本船は微動だにしていない。船の上とは思えなかった。川崎汽船の“K”的マークが空に映える。横に泊る「アナナス」は潤滑油を運んできた船。

(撮影:編集部)

LA MER(ラ・メール)はフランス語で海の意味です。